

平成 28 年度 北農賞
(昭和 15 年創設 第 77 回)

○論文：混播草地における夏季更新の播種晩限（北農 83 巻 2 号掲載）

奥村 健治、井上 聡、高田 寛之、松村 哲夫 殿

(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター)

藤井 弘毅 殿 (地方独立行政法人 北海道立総合研究機構北見農業試験場)

林 拓、酒井 治、出口 健三郎 殿 (地方独立行政法人 北海道立総合研究機構根釧農業試験場)

(1) 北海道の草地更新時期は、1 番草の収穫後で、夏雑草との競合少ない夏季に行われており、道東でも 8 月上旬までに行うことが推奨されているが、近年、温暖化に伴う秋季の高温傾向、越冬性の優れた牧草品種への置き換えで播種晩限の検討が求められる背景から、播種翌年の 1 番草の収量から必要な有効積算気温とマメ科牧草の安定定着に必要な有効積算気温に基づき混播草地の播種晩限を推定した。

(2) さらに、個々の更新地点の播種晩限として利用できるように気象データによる地点分類をクラスター分析により行い、それぞれの地点の播種晩限日を計算できるプログラムを報告している。

(3) 本成果は地域、農研機構と道総研が協力した研究であり、草地更新が進まず、牧草の生産性が悪化している草地の植生改善に活用され、飼料自給率の向上に貢献することが期待される。